

大宮中学校 技術・家庭科《第1学年家庭分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭科 教科目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

例：[知]は、「知識・技能」、[思]は、「思考・判断・表現」、[態]は「主体的に取り組む態度」

月	単元名等と配当時数	指導目標	指導内容	観点	評価規準
4	家庭分野ガイダンス <1時間>	・小学校の学習を振り返り、自分の成長を知るとともに、3年間の学習に見通しをもつ ・自立と共生に関心を持つ ・自身の生活を振り返り、自身の関心に気づき、深める	家庭分野のガイダンス ・家族・家庭と地域の生活 ・生活の土台 自立と共生 ・生活の見方・考え方 ・主体的・対話的で深い学びをしよう	[態]	・自分の成長を知るとともに、3年間の学習に見通しをもつ ・小学校の学習内容を理解している
5	B 衣食住の生活（衣生活） ①目的に応じた衣服の選択 <3時間>	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる ・自分らしい着方を工夫することができる ・和服の文化に興味を持ち、和服の着方を知る ・自分の衣服計画が立てられる ・既製服を選ぶポイントがわかる	B 衣食住の生活（衣生活） ①目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択	[態] [思] [知]	・日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補習の課題に取り組んでいる ・和服と洋服の構成の違いを知り、和服に関心をもつ ・日常着を T・P・O に応じて適切に選択し、バランスよくコーディネートできる ・目的に応じた着用や、個性を生かす着用について自分なりに工夫をしている ・衣服の社会生活上のはたらきが理解できる
6	②日常着の手入れと保管 <4時間>	・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる ・取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる ・衣服の素材に合った洗剤	② 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③目指そう洗濯名人 ④補修や収納・保管	[知]	・衣服の材料や状態に応じた洗濯・補習・手入れができる ・取扱い絵表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの仕方がわかる ・衣服の状態に合わせた適切な保管の方法がわかる ・洗剤の種類が分かり、適切な使い方がわかる

		を選び、適切な量を使用できる ・衣服が傷んだら、傷みの状況に合わせた方法で衣服のアイロンかけや、収納・保管を適切に行うことができる		態 思	・衣服の手入れや保管について、よりよい衣生活の実現のために、実践できることや課題を自分なりに考えられる ・衣服を快適に着用するために、手入れや補修の手順や方法を考えたり工夫したりしている
7	③生活を豊かにするものの製作 <11時間>	・布を用いて生活を豊かにするための物の製作に関心をもつ ・計画を立て、オリジナルの作品の製作を行う。 ・作品を作り方の手順に従い、意欲的に製作する。 ＊ミニトートバッグ	③生活を豊かにするものの製作 ○布による作品で生活を演出 ・製作の計画 ○製作の基礎・基本 ・布を知ろう ・針と糸を知ろう ・しるしをつけよう ・裁断しよう ・手縫いで縫ってみよう ・ミシンを使って縫ってみよう	態 知 思	・計画表を確認しながら、意欲的に製作に取り組んでいる ・毎時間の振り返りと次回の課題を考え、製作の過程を計画的に実行しようとしている ・基本的な縫い方、用具の安全な取り扱い方の基礎的な技術を身に付けている ・縫う箇所や布に適した縫い方、始末の仕方がわかる ・オリジナルのデザインを作品に取り入れ、工夫して作品を製作することができる ・製作を通して、縫い方やデザインを自分なりに工夫して考え、作品に表すことができる
9					
10	④持続可能な衣生活 <1時間>	・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える ・衣生活におけるSDGsの取り組みを考える	④持続可能な衣生活 ○持続可能な衣生活を目標して	態 思	・環境を考えた洗濯の仕方や衣服の購入の仕方がわかり、実践しようとしている ・省エネルギーにつながる衣服の着方、資源を大切に消費、洗濯排水における取り組み、など、実生活におけるSDGsの取り組みについて考え、実践するための具体例を考えられる。
	B衣食住の生活（住生活） ①住まいのはたらきとこちよさ <2時間>	・住まいの基本的な役割について理解する ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る ・住まいの空間の使い方について理解する ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する	B衣食住の生活（住生活） ①住まいのはたらきとこちよさ ①住まいのはたらき ②住まいの空間	態 知 思	・自分や家族の住空間と生活行為との関わりについて関心を持ち、自分の住生活を振り返ることができる ・安全で快適な室内環境に関心を持ち、住まいの課題を見つけようとしている ・住居の基本的な機能について理解している ・日本の伝統的な住まいの特徴について理解している ・住まいの空間と使い方について理解している ・室内環境について、安全で快適な整え方を考え、工夫している ・家族との関わりと自分の居場所との関連や、より快適な住まいにする方法について考え、意見を述べられる
11	②安全な住まいで安心な暮らし <3時間>	・家庭内の事故の種類と、その原因を知る ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する ・地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する	②安全な住まいで安心な暮らし ①家庭内事故への備え ②災害への備え	態 知 思	・安全な住まいの実現について、住生活における問題点や課題を見つけ、解決案や改善点を考えようとしている ・家庭内事故の種類とその原因について理解している ・地域の災害について理解し、災害への備えの重要性を理解している ・幼児や高齢者の安全な住まい方について、具体的な解決策を提案することができる ・自然災害への備えの必要性がわかり、対策を考えられる

12	③持続可能な住生活 ＜1時間＞	・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る ・住生活におけるSDGsの取り組みを考える	○持続可能な住生活をめざして	思	・誰もが住みやすい住環境について考え、デザインや提案ができる ・省エネルギーにつながる再生可能エネルギーの住宅や、節電の取り組み、資源を大切にする消費行動、洗濯や食事の排水における取り組み、など、実生活におけるSDGsの取り組みについて考え、実践するための具体例を考えられる。
	C消費生活・環境 ①家庭生活と消費 ＜2時間＞	・物資とサービスの特徴がわかる ・消費生活のしくみがわかる ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる	C消費生活・環境 ①家庭生活と消費 ①消費生活の仕組み ②家庭生活における収入と支出	態知	・自分の消費生活について意欲的に取り組んでいる ・物資・サービスについて理解している ・計画的な金銭管理ができる
1	②購入・支払いと生活情報 ＜3時間＞	・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する ・生活情報の収集や活用の仕方を理解し、目的に合った商品を選ぶことができる	②購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと —売買契約— ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入	思知	・身近な販売方法・支払い方法を理解し、利点や問題点を理解した上で自分なりの活用方法を考えられる ・販売方法・支払い方法について理解している ・売買契約について理解している ・消費行動に必要な情報を収集・整理することができる
	③消費者被害と消費者の自立 ＜2時間＞	・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる ・消費者を支えるしくみについて理解できる ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす	③消費者被害と消費者の自立 ①なくなる消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任	思知	・消費生活におけるトラブルについて理解し、対処法・予防法を自分なりに考えることができる ・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している
3	④持続可能な社会 ＜2時間＞	・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する ・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる ・消費生活におけるSDGsの取り組みを考える	④持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	知思	・自分や家族の消費生活が社会や環境に与える影響について理解している ・資源を大切にする消費行動（購入・廃棄を含む）、電気や水の消費、資源を大切にする消費者の活動や取り組みについてなど、実生活におけるSDGsの取り組みについて考え、実践するための具体例を考えられる。